

救急車が来るまでに 出来ること！

～ あなたも、命を救うチームの一員です～



福山地区消防組合 府中・芦品消防署

応急手当 と 救命処置？

応急手当とは

家庭や職場等でできる手当

(身の回りにあるもので手当を行う)

目的 → 「救命」「悪化防止」「苦痛の軽減」

① 傷病者の管理

- ・ 安全の確認 (周囲に危険はないか?)
- ・ 衣類を緩める
- ・ 保温(冷却)・・・体温低下を防ぐ(毛布等で)
熱中症(氷水・冷却材等)
- ・ 体位管理 (原則は傷病者が希望する体位)

応急手当 と 救命処置？

直接圧迫止血法



ビニール手袋を着用して
ガーゼを圧迫する

手袋の代わりにビニール袋を
利用する

④ けが・その他の傷病への対応

骨折、熱中症 etc → 固定、冷却 など

応急手当 と 救命処置？

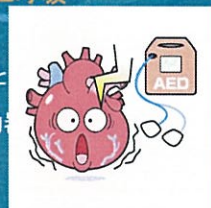
救命処置とは

突然、心臓や呼吸が止まった時の処置

★心臓マッサージ & 人工呼吸

現場へ居合わせた人が
実施すること

★AED (自動体外式除細動器) (上記の処置と同時進行で)



救命の連鎖とバイスタンダーの役割



- 1つめの輪: 心停止の予防
- 2つめの輪: 心停止の早期認識と通報
- 3つめの輪: 一次救命処置 (心肺蘇生と AED)
- 4つめの輪: 二次救命処置と心拍再開後の集中治療

救命の連鎖とバイスタンダーの役割

I 心肺停止の予防

突然死の可能性のある傷病を未然に防ぐこと

- 成人 → 心臓発作 (心筋梗塞, 狭心症)
脳卒中 (脳梗塞, クモ膜下出血)
- 子ども → けが (外傷)
溺水 (溺れる)
窒息


＝代表的なものです！＝

救命の連鎖とバイスタンダーの役割
 II 心停止の早期認識と通報 (救命処置の手順)
 ① 反応【意識】の有無を確認する

呼びかけ等で → 目を開けるか？
 発語があるか？
 目的のあるしぐさをするか？

反応がない = 「意識なし」

(注) けいれん・ひきつけ
 ↓
 「反応なし」
 =目的のあるしぐさではないので！ =




救命の連鎖とバイスタンダーの役割
 II 心停止の早期認識と通報 (救命処置の手順)
 ② 助けを呼ぶ(協力者を集める)

協力者に

- ・119番通報をお願いします！
- ・AEDを持って来てもらう！
(すぐ近くへあれば)

=協力者がいない場合=
 ・自分で119番通報
 ・すぐ近くにAEDがあれば取りに行く




119番時に伝えてほしいこと

参考

- ・火事か・救急か？
- ・発生場所はどこなのか？
 家庭であれば・・・住所・名前
 外出先であれば・・・？分かりやすい目標物
- ・発生原因・・・どのようにして発生したか？
- ・患者の状態・・・今の状態は、意識はあるか？
- ・患者の数・・・1人なのか？複数いるか？
- ・患者の場所・・・2階以上に居る！
 動けない、動かさない！

※慌てず落ち着いて伝えてください



救命の連鎖とバイスタンダーの役割
 III 一次救命処置(救命処置の手順)
 ③ 呼吸の確認

「普段どおりの呼吸」
 をしているか？

▼ ポイント

- ・10秒以内で！
- ・胸部や腹部の上がり下がりを見て！



救命の連鎖とバイスタンダーの役割
 III 一次救命処置(救命処置の手順)
 ④ 胸骨圧迫(心臓マッサージ)

普段どおりの呼吸なし

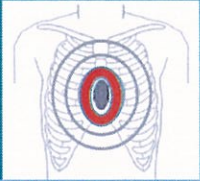
↓

【胸骨圧迫】

▼ ポイント

- ・胸の真ん中を
- ・傷病者の胸が少なくとも5cm沈む強さ
(15歳未満は胸の厚さの1/3沈む強さ)
- ・少なくとも100回/分のテンポで
- ・連続で30回！

強く、早く、絶え間なく！！




救命の連鎖とバイスタンダーの役割
 III 一次救命処置(救命処置の手順)
 ⑤ 人工呼吸(口対口人工呼吸)『省略可能』

(1) 気道確保
 ・頭部後屈あご先挙上

(2) 人工呼吸
 ・2回吹き込む(1回を1秒で×2回)
 ・胸が持ち上がるのを確認

※感染防護具の活用も



救命の連鎖とバイスタンダーの役割

Ⅲ 一次救命処置(救命処置の手順)

⑥ 心肺蘇生の継続

(胸骨圧迫＋人工呼吸)

胸骨圧迫: 30回 → 人工呼吸: 2回



救命の連鎖とバイスタンダーの役割

Ⅲ 一次救命処置(救命処置の手順)

⑦ AEDの取り付け

- ・電源を入れる
- ・電極パッドを貼る (胸骨圧迫を中断しない)
- ・心電図の解析 (自動で解析します！)
- ・電気ショックの実施



⑧ 心肺蘇生再開(ショック後直ちに)

(胸骨圧迫＋人工呼吸)

この後、2分毎にAEDが解析を実施します。

AED(自動体外式除細動器)の種類 国内設置機種の一部



次の症状は迷わず救急車(119番)を

- 呼び掛けでも返事をしない、身体を動かさない。
- 突然今までに経験したことがない激しい頭痛、吐き気・嘔吐を伴う。
- 身体のだらつき、手足の麻痺、言語障害が見られる。
- 突然強烈な胸痛・背部痛から始まり、痛みの位置が移動する感じがおり冷や汗が出る。
- 意識障害を伴う痙攣が長時間続く。痙攣が一定時間内で繰り返す。

＝ 症状の一例です ＝

本当に救急車が必要ですか？

- ・ 診察してもらえる医療機関が分からないから・・・。
- ・ 医療機関へ行く手段が無い？から・・・。
- ・ 救急車で行けばすぐに見てもらえるから・・・。
- ・ 交通事故等でけがはないが念のために・・・。
- ・ 緊急を要しないがみんなに勧められて・・・。 etc

急を要する病気ではないが、『便利なので救急車を利用する』
というような出勤がふえると、真に救命を待っている傷病者を、
待たせてしまうことにつながります。

救急車の適正な利用をお願いします！

救急隊からのお願い

- ★ 保健証、今飲んでいる薬(お薬手帳)があれば用意しておいてください。
- ★ 希望される病院に状況によって搬送できない場合もあります。
- ★ 付き添いの方(家族等)の同乗が必要です。
- ★ 病院まで自家用車で家族の方が来られる場合には交通ルールを遵守し、事故の無いよう安全に配慮してください。
- ★ 救急車の必要がない医療機関の問い合わせ等は、119番ではなく最寄りの消防署または、消防局指令課に電話してください。

消防局指令課 084-928-1194

府中消防署 0847-43-7183

続いて、芦品消防署 救急隊員
による心肺蘇生法・AEDの使い方
についての実技講習を行います。

是非、みなさんも体験してください。

《準備のため約10分ほど時間をいただきます。》